

## 3 沼津市における自転車に関わる現状・課題

### 3-1 現状・課題と対応の方向性

#### 課題1 安全・安心

- 自転車関連事故の発生件数が10万人あたりの件数が周辺自治体と比較して多く、高校生にあたる16～19歳の事故が多くなっています。
- 平成29年に沼津市自転車ネットワーク計画を策定し、計画的・継続的に整備に取り組んでいますが、さらなる自転車通行空間の整備が求められています。
- アンケートによるとほとんどの高校生は、自転車のルール・マナーに関して認知・遵守していますが、ルール・マナーの中に認知度が低いものもあります。また、より自転車を利用する環境として、自動車ドライバーの自転車に対する配慮が必要だと感じています。
- 高齢者の7割は交通安全教育を受講したことが無いなど、世代によって交通安全教育の受講経験に差が生じています。
- 自転車を利用する市民の8割は、車道走行時の路上駐車に危険を感じています。

#### 対応の方向性

- 自転車関連事故の削減のための、安全・安心な自転車通行空間のさらなる整備推進
- 自転車ルール・マナーの周知の徹底

【特に注力する対象】学生・近距離ドライバー・子育て世代

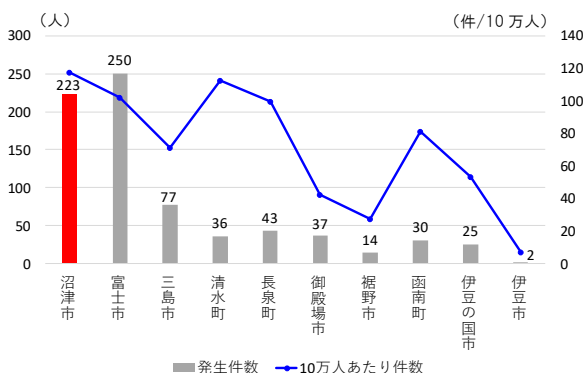


図 3-1 他都市との人口あたりの自転車関連事故件数比較(令和元年度)

出典：静岡県警交通年鑑から作成

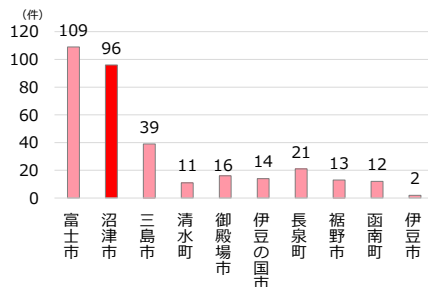


図 3-2 周辺自治体における高校生の交通事故比較(令和元年)

出典：静岡県警交通年鑑から作成

## 課題 2 都市環境

- 自動車への依存度が高く、特に 30～60 代では平日の自動車利用が 7 割を超えています。
- 中心市街地周辺では、4 区間、8 か所が主要渋滞箇所指定されるなど深刻な交通渋滞が発生しています。
- バス停まで距離があるなど、路線バスの利用が不便な地域が存在しています。
- 多様な移動手段の確保に向けた取り組みや、歩いて楽しいまちづくりと調和した自転車通行空間と駐輪場の適切な配置が必要です。
- 駐輪場は、市内の 4 つの駅周辺で 11 か所が整備されており、終日無料で利用できます。また、駐輪場の整備と併せて、放置禁止区域の指定などによる、放置自転車の減少は、これまでの取り組みの成果によるものです。引き続き、良好な都市環境の形成のため、まちづくりと一体となった柔軟な対応が必要です。

### 対応の方向性

- 多様な移動手段の確保と利便性向上に向けた取り組みが必要
- まちづくりと一体となった駐輪場等の包括的なマネジメント

【特に注力する対象】 近距離ドライバー、子育て世代

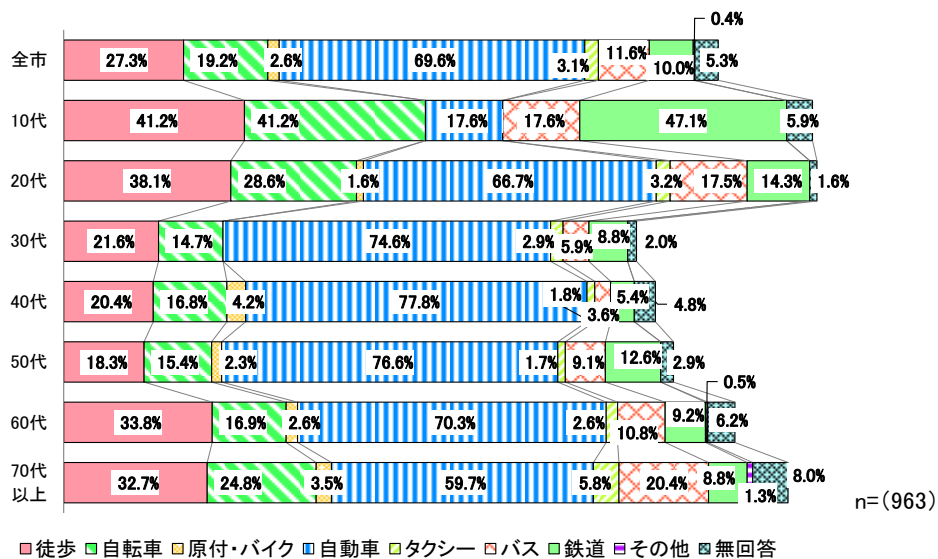
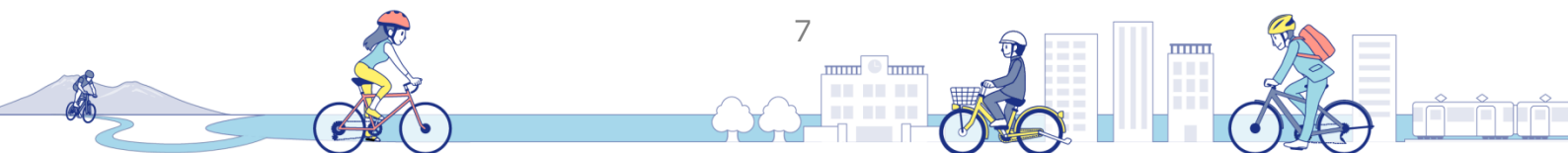


図 3-3 平日の主な交通手段

出典：令和元年度 第 46 回市民意識調査報告書から作成



### 課題3 健康・運動

- 市民の約8割が日頃の運動不足を感じています。
- 週1日以上運動習慣がある市民は約3割に留まっています。
- 県平均と比較して、男性・女性ともに生活習慣病の発生リスクが高くなっています。
- 自転車を利用する理由として、健康に良いからと認識している人が一定数いることから、自転車を活用した健康増進のための、機会創出が必要です。

#### 対応の方向性

- 日常生活における自転車利用の意識の醸成ときっかけづくり

【特に注力する対象】近距離ドライバー、子育て世代

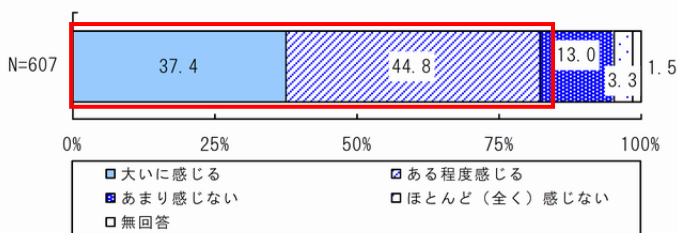


図 3-4 運動不足についての意識

出典: 沼津市スポーツ推進基本計画

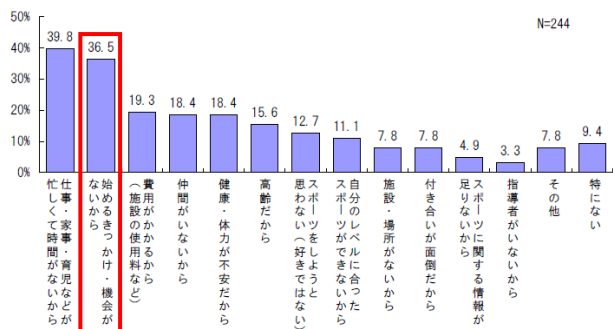
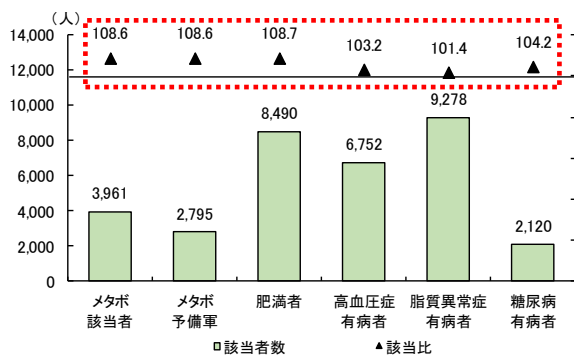


図 3-5 スポーツをしない理由

出典: 沼津市スポーツ推進基本計画

【男性】

静岡県平均より高い値



【女性】

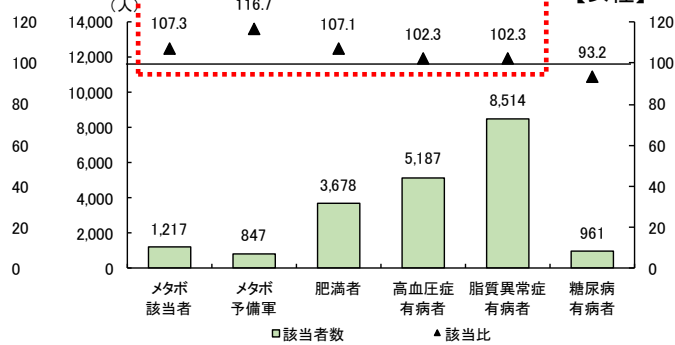


図 3-6 特定健康診査 標準化該当比

出典: 平成 29 年度特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書

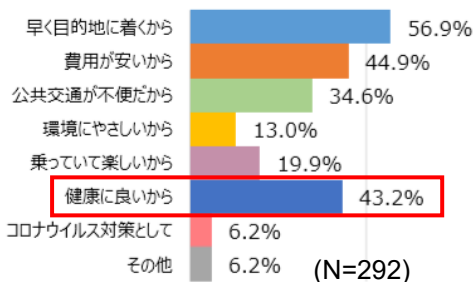


図 3-7 自転車を利用する理由

出典: 令和 2 年度「自転車の利用に関する市民アンケート調査」結果から作成

## 課題4 観光振興

- 地域資源の活用に向けた交通手段を選択できる環境づくりが必要です。
- サイクルツーリズムによる地域活性化に向けた民間事業者等との連携が必要です。
- 自転車での観光を目的として本市を訪れる方は、web サイトからサイクリング情報を取得する人が最も多く、また、宿泊先や沼津駅の観光案内所からの情報取得をする人も多いですが、それに対応したコンテンツの情報発信が不足しています。
- 「DKFREERIDE MTB PARK」「NUMAZU サイクルステーション静浦東・スキルパーク」では、マウンテンバイク(MTB)、BMX などの自転車競技を楽しむことができます。

### 対応の方向性

- サイクリストの受入環境の整備
- 地域資源を活用した仕掛けづくり
- 県のモデルルート等を活かした広域的な連携

【特に注力する対象】観光客・サイクリスト



図 3-8 DKFREERIDE MTB PARK(左) NUMAZU サイクルステーション静浦東・スキルパーク(右)

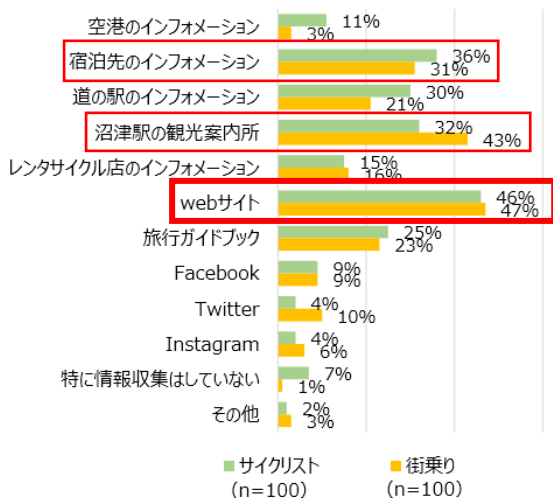


図 3-9 サイクリング情報の取得方法

出典: 令和2年度「自転車の利用に関する観光アンケート調査」結果から作成



図 3-10 県モデルルート

出典: 静岡県自転車活用推進計画から作成

